

『エンゼルケア研修』

研修会実施報告

日時 : 2019年9月7日(土) 8:30~15:00

対象者 : 36名

参加者数 : 36名

目的 : 死後ケアの技術の理解を深めるために、標準予防策の考え方、エビデンスに基づいた理論を学び実践に活かすことが出来る。

<講師の紹介>

有限会社エル・プランナー

美粧衛生師・死後ケア専門看護師

橋本 友希先生

1998年看護師免許取得。

2010年有限会社エル・プランナーに入社。死後ケア・メイク業務を行う。ICHG研究会に所属し環境感染ならびに感染予防策を学ぶ。看護師出版社、エル・プランナー主催の講師を務める。



<内容>



今回の研修は美粧衛生師・死後ケア専門看護師の橋本友希先生をお招きし、死亡直後の遺族ケア、根拠に基づくエンゼルケア、死後変化を理解したうえでのエンゼルメイクを題材とした講義形式で行われました。

死亡直後の遺族ケアでは、看護師の関わりが遺族の受容に大きな影響を与えるため看護師は遺族心理に合わせた方法を行うことが必要である事を学びました。根拠に基づくエンゼルケアにおいては、病院でエンゼルケアを行い家に帰った後、出血や体液が流出しているケースを実際の映像を交えながら、死後処置の提議や標準予防策、医療器具抜去後の処置、腔部の詰め物、消毒薬の選択について学びました。死後の人体で起こる変化に対する間違っ

たケアが、遺体への不利益を与える事が理解出来ました。エンゼルケアは、家族の心情に寄り添うメイク、死後変化とメイクについての講義でした。エンゼルメイクは死後の変化を理解した上で保湿が必要であり、何よりもその人らしい生前の状態に合わせたメイクを家族へ確認しながら行う事が大切であると学びました。今回の研修では、今まで自分が行ってきたエンゼルケアを振り返る事が出来ました。看護師のエンゼルケアが遺族へのケアに繋がる事、遺族の心情を理解した上でエンゼルケアを行うことの重要性、正しい知識で行う事の必要性を学ぶことが出来ました。今回の学びを各部署に伝授し、正しい知識と技術で今後のエンゼルケアを実践していただきたいと思